

歴史上の人物も様々な病気で悩んでいました。もし、あの時代に現代の医療技術があったなら……。

## 富と地位の象徴で失明

血筋はまさに音楽界のサラブレッド J・S バッハ

早くから才能が開花

多くの名作を残し「音楽の父」と称され、ベートーベン・ブラームスとともに「ドイツ3B」と呼ばれるJ・S バッハ。彼は1685年3月

21日、町楽師の末っ子として生を受けますが、この前後の約250年間にバッハ家からは、作曲家のみならずオルガニスト、専属楽師、音楽教師、オルガン制作者など60人以上の音楽関係者が誕生しています。

トと、次第に名声が高まります。するとそれに伴って収入も増え、30代の頃には一般労働者の40倍程の収入があったようです。当時の庶民の食事といえば、お粥と野菜のスープくらいのものでしたが、彼の食事は肉や魚、乳製品など、豪華なものばかりでした。



メタボで「白内障」悪化!?

その結果、当然のことながら超メタボな体格になりました。肥満は当時、富と地位を象徴するある種のステータスだったわけですが、それにより糖尿病性網膜症を発症し、さらにそれが「白

内障」の悪化を早めたといわれています。64歳の時に英国人眼科医による眼の手術を受けますが、白内障治療に威力を発揮する「多焦点眼内レンズ」どころかちゃんとした技術もない時代だったので結局失明し、処方薬も粗悪品だったため翌年亡くなってしまいます。

あれはバッハも喜んだ  
視界が明るくなる  
多焦点眼内レンズ

### 多焦点眼内レンズ



多焦点眼内レンズ

行い、濁った水晶体を取り除いた後、直径約6ミリの薄くて小さなレンズを挿入。片眼10分程度で終了します。翌日眼帯を外し、術後1週間でスポーツも可能。夜、光がギラついたり、景色や物がやや暗く見えたり白っぽく映ることはありますが、術前より明るく見えることに大半の患者さんが感動し、術後の生活に満足しています。ただし、いびき、つな乱視（きれいな乱視は可）、緑内障、糖尿病性網膜症など、白内障以外に視機能に影響を与える病気がある人は適応外。また自費診療なので、負担が大きい点は理解しておきましょう。



きれいな乱視の人工的レンズ

多焦点眼内レンズは、近年白内障の手術時に選択できるようになった高い視機能を実現するためのレンズです。白内障の手術では単焦点眼内レンズを用いることが一般的ですが、1カ所しか焦点が合わないため、生活上不便な人も。多焦点眼内レンズはさまざまな焦点に距離を合わせやすいので、ご年配でパソコンやスポーツが趣味の活動的な人や、同時に老眼や乱視も治したい人、裸眼で過ごしたい人に向いています。

手術は日帰り。まず点眼麻酔を

先生にお話を  
聞きました

レイ眼科クリニック 院長 松本玲先生

神戸市中央区京町74 京町74番ビル9F  
Tel 078・391・0157

